

陽の里



社会福祉法人 新生会
総合ケアセンター サンビレッジ
〒503-2417 岐阜県揖斐郡池田町本郷1501番地
TEL (0585) 45-5545(代)
URL <https://www.sun-village.jp/>



No.153

テーマ サンビレッジ岐阜15周年に寄せて



サンビレッジ岐阜15周年に寄せて



公益社団法人 地域医療振興協会
副理事長 山田 隆 司

この度はサンビレッジ岐阜15周年おめでとうございます。現在、岐阜シティータワーでは地域医療振興協会が診療所を運営し、医師の面でお手伝いさせていただいておりますが、開設の際には石原美智子前理事長には大変お世話になりました。そもそも岐阜県住宅供給公社の高齢者向け賃貸住宅の建設に伴い、医療福祉サービスを一体的に提供し、利便性の良い市街地で障害や疾病を抱えても最後まで安心して暮らせる仕組みを作るということで当法人にもお声をかけてもらいました。サンビレッジで提供されている質の高い介護、訪問サービスを見習い、医療も一体となった都市型の地域包括ケアサービスの二翼を担えるようこれまで取り組んできました。

開設当初は常勤医師の定着にも苦労しましたが、現在の島崎亮司所長が着任以来、癌末期や神経難病患者、NICU退院後の医療的ケア児など、在宅生活への移行が困難な事例を中心に積極的に取り組むことで、15年を経てなんとか地域に頼られる施設に成長してきたように思います。

今後これまでの多職種研修(ごちゃまぜ研修)をさらに発展させ、スクラムを組んでより質の高い人材育成にも協力させていただければと思っております。サンビレッジ岐阜の益々のご発展を祈念しております。

岐阜の宝物

サンビレッジ岐阜

管理者 川瀬由起子

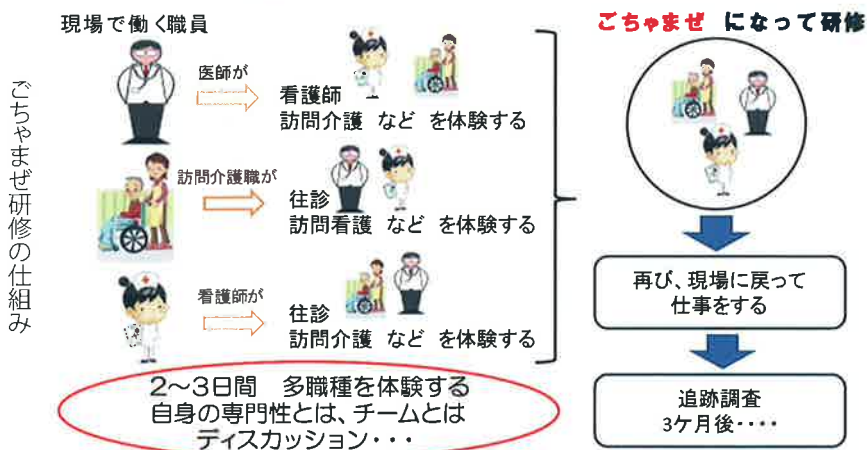
「赤ちゃんから高齢者までが安心して最期まで暮らせる街づくり」をスローガンに、試行錯誤しながら、岐阜シティタワー43の住民・テナントの皆さんと共に歩み、早いもので15年目を迎えます。皆さんと無事に迎えられたことを心から感謝し、嬉しく思います。

このスローガンの実現には、住民・医療・福祉の連携がとても重要です。そこで、3階フロアの各専門職が、チーム内の相互理解を深めるためにどうしたら良いか思案した結果生まれたのが、多職種間連携教育「ごちゃませ研修」です。他職種とのディスカッションや現場体験を通して、自身の専門性、相手の専門性を理解し、チーム内の相互理解のために自身はどう動くのかを学びます。

まずは、法人内の職員から実施し、他事業者、行政の方も参加さ

れ、現在まで336名の医療福祉関係者が参加しています。このような研修が継続できるのは、岐阜シティタワー43の構造を活かし、ここに暮らす住民さんも一緒に協力して頂ける環境との融合があるからだと思います。これは、「岐阜の宝物」だと自負しています。この宝物を大切に、これからも精進していきたいです。

岐阜版“ごちゃませ”研修



参加者の声 (3ヶ月後の追跡アンケートも含む)

医師 T 氏

研修前よりも他職種がどう考えるか想像したり、意見を聴いたりするようになった。

理学療法士Hさん

自分から他職種に声をかけるようにしたら、相手から声をかけてもらえるようになった。話しやすい雰囲気がUP、お互いの職種に対するリスペクトが向上した。

事務員 O 氏

ヘルパーさんの現場に同行し、働く様子を知る事で、事務所に戻ってきた時の「お疲れ様」「お帰りなさい」がより心がこもるようになった。

薬剤師 F 氏

薬を渡した後、実際に患者さんが服用出来る様に誰がどんな支援しているのか分かった。安全確実に服薬できるように、他職種がその専門性をより発揮できるように薬局として、できることを考えたい。

訪問介護職 T 氏

ヘルパーが利用者の生活に関わることで得ることができる情報の多さ、重要性を再認識した。些細な事もチームで共有したい。

「しんせい語録」の読み解き

新生グループには日めくりカレンダー「しんせい語録」があります。語録には介護現場で感じたことや学んだことへのヒントが掲載されています。



本当の優しさは、

厳しさの中にある

ちやぼぼ 角山まゆみ

住宅型有料老人ホームにお住いのY氏は、長年銀行勤めをされながら若い頃は、コーラス活動に意欲的に参加しておられました。物静かで口数の少ない方ですが、併設デイサービスを週2回利用して下さっていました。そんなY氏がある日、散歩中に転倒され大腿部骨折で入院となり、退院後は当ホームに戻されましたが、ベッド上での生活が多くなりました。食欲の低下もみられましたので、以前のY氏の生活に少しでも取り戻せるように、ケアマネ、看護師、OT、ヘルパーと相談しながら短時間デイの再開をお勧めし、利用して頂く事になりました。いざお誘いすると「やつぱり、行きたくない」と話される事もありましたので「体力が落ちてしまわないように、少しでも体を動かしましょう」と根気よくお誘いする事で、利用して頂ける様になりました。

以前の様に自由に散歩できる状態を取り戻すためにも、保有能力を活かし体力維持に向けた、生活



先を見据えた自立支援

を中心としたリハビリ・脳トレなどを取り入れ、根気よくお誘いを続けました。定期的な利用が可能となり、今では歩行訓練にも意欲的に取り組んでおられます。Y氏の一日の生活リズムが少しずつ整い、歩行訓練される姿を見守りながら、以前のように自由に散歩が出来る日が、着々と近づいていると感じています。『本当の優しさは、厳しさの中にある』とは、その方がどうなりたのか、先を見据えた自立支援に向けて、保有能力を活かし、その目標を達成する為に、本人の心を動かしていく事がとても大切な事だと痛感しました。

vol.35

「サンビレッジの仲間たち」

人を育て、自分も育つ

サンビレッジ国際医療福祉専門学校

言語聴覚学科 倉知雅史

専門学校の専任教員となり数年が過ぎました。私は言語聴覚学科の2期生として入学し卒業、入職を経て、今年で20年を迎えました。他分野から転職し、医療・福祉職としては未熟であった私を、介護職をはじめ様々な職種の方々が支えてくれました。またご利用者の方々に教えられ、今日を迎えています。

この20年で岐阜の地に転居し、結婚。2人の子にも恵まれ、長男は小学2年生になります。育児・家事と仕事を両立しつつ、これからは自分が学んだ母校で、学生教育に臨んでいきます。

本年度の法人キーワードである「発信する」とは、相手の思いを汲み取り、自分の考えや気持ちを伝えることです。授業や実習においても、学生の視点に立って、例えば電子黒板やスマートグラスなどのIT機器をかけあわせるなどして、学習意欲が湧いてくる「伝わる講義」を目指します。

自分のかかわった学生が、地域の中で、お一人おひとりの生活や人生に思いを寄せながら、セラピストとして活躍していく姿を思い描き、日々の学びに努めていきたいと思えます。

最後に、自分を育てながら人を育てる。という新たなチャレンジの機会をいただけたことに、感謝します。

今後ともどうぞよろしくお願います。



自分の考えを伝える授業

Family's Voice 「ご家族の声」



いつもありがとうございます。
ご報告です。

令和3年夏に担当医から「回復の見込みはなく寝たきりの状態」と告げられ、夫との今後の人生の光を失いました。縁あってリハビリセンター「白鳥」にお世話になることとなり、今年の7月で1年になります。寝たきりの状態から短時間ですが車いすに座ることが出来るようになり、食事も介助が必要でしたが、今ではスプーンを持ち口に運べるようになりました。笑顔もありません。会話もゆっくりですができるようになりました。介護の力の凄さ、偉大さを痛感しています。感謝しかありません。



西本文雄さんと妻の久美子さん

みやび

しばらく中止していた、清掃活動を再開しています。



トピックス

ぎふ



6/5(日) 3年ぶり中日ドラゴンズ応援観戦ツアー開催。ドラゴンズ勝利を見ることができ、大盛況でした。



7/5(火) みっけのおうち(保育園)に「あさがおの壁画」をプレゼント！
リハビリサロンでは季節ごとに、みっけの子供たちに折り紙で作った壁画をプレゼントしています。立体折り紙に興味津々！

みずほ

利用者が毎日使う食事用のナフキン。手作りして頂ける方を、瑞穂市社会福祉協議会様より紹介頂き、お洒落なナフキンを作っていました。



校舎のない学校

居住支援活動開始 NPO校舎のない学校では、外国の方の居住支援を今年度より開始しました。学校の留学生、各拠点で働く技能実習生の皆様のサポートを新生会の皆様と一緒に取り組んでいきます。



サンビレッジフーズ

夏にスタミナ土用の日 毎年恒例「サンビレッジフーズのうな丼」今年も配食を御利用される皆様に、夏バテしないエールと共にお届けいたしました。「毎年楽しみにしています。元気が出るわ」といつもの食事と共にオプションメニューも喜ばれています。



ひんせいえん

3年ぶりに物故者慰霊祭を開催いたしました。
交流は控えて ZOOM で全棟に配信しました。配信場所では手作りの焼香台を作成し故人を偲びました。



おおがき

外気浴を兼ねて、プランターで夏野菜を育てています



コロナ禍でも夏を楽しみ、ユニットにてスイカ割りを楽しみました

